

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	鶴見区
学 校 名	大阪市立茨田南小学校
学校長名	宇野 多加志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・茨田南小学校では、第6学年 63名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度の全国学力・学習状況調査の本校の平均正答率は、国語科においては全国平均を0.4ポイント上回り、大阪市平均からも2ポイント上回った。内容別に見ると5項目中3項目で全国平均・大阪市平均を上回った。「読むこと」は大阪市平均を上回ったが全国には届かなかった。「話すこと・聞くこと」において大阪市平均を下回った。算数科においては平均正答率が全国平均を3.2ポイント、大阪市平均を2ポイント下回り平均無回答率も市平均を大きく上回る結果となった。領域別では図形領域で大阪市、全国平均を上回った。理科においては平均正答率で大阪市平均と同値であったが、全国平均は3.3ポイント下回った。領域別ではA区分(エネルギー、粒子)で大阪市平均を上回り、B区分(生命、地球)で大阪市平均を下回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕平成元年度より、研究主題を「主体的・対話的で深い学びの推進」に設定し学習活動に取り組んでいる。コロナ禍において学習活動に制限がかかり対話的な学びの推進は不十分であったがICT活用により補いながら成果をあげることができた。「話すこと・聞くこと」で大阪市平均を下回った結果になったことを今後の課題として主体的な学びを推進していく。

〔算数〕平均正答率は、大阪市平均・全国平均を下回ったが昨年度と比べるとその差は大きく縮まっている。大阪市との差は昨年度5ポイントに対して今年度は2ポイントであった。領域別に見ると「数と計算」は、大阪市とほぼ同値であるが「データの活用」では大阪市平均を下回っている。基礎学力の充実をさらに図りながら、ICTを活用した授業研究を進めているが、さらに研究を深め、この領域の正答率を高めていかなければならない。

〔理科〕平均正答率は大阪市平均と同じ値であった。領域別に分析すると、物理・科学系では大阪市平均を上回り、生物・地学系で同値または下回る結果となっている。質問紙調査では「理科の勉強は好きですか」の問いに肯定的に答えた児童の割合は75.4%であり、大阪市平均を上回っている。実験などを通じて理科に対する興味・関心を高めながら「主体的・対話的で深い学び」を推進し、自主学習習慣の確立を目指していきたい。

質問紙調査より

「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の問いに対する肯定的な回答は92.3%と大阪市平均の90.4%を上回っている。コロナ禍以前から取り組んでいるICT機器を活用した授業が児童に定着していると思われる。「国語の勉強は好きですか」の問いに対する肯定的な回答は60%で「算数の勉強は好きですか」の問いに対する回答は66.1%でいずれも昨年度調査を上回っている。特に算数においては大阪市平均・全国平均を上回っており、正答率が大阪市平均に近づいてきた要因と考えられる。

「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の問いに対する肯定的な回答はいずれも大阪市平均を下回っている。家庭との連携を図り、基本的生活習慣の確立に努めていく。

今後の取組(アクションプラン)

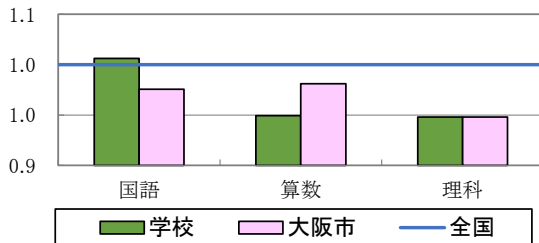
昨年度より、漢字や計算等の基礎学力の定着を図るため、各学年モジュールタイムを設け、計画的に継続・実施してきた。本年度調査で国語科と算数科で一定の成果が見られた。自主学習習慣の確立に向けて、理科においても積極的に自主学習ノートを活用するなど教科の幅を広げていく。児童に定着しているPCを利用した授業をさらに推し進め、授業改善に活かしていく。研究主題「一人一台端末の教科への活用」に合わせ、児童の端末を効果的に活用した授業を研究、実践していくことで、学習への興味・関心を高め、進んで学習に取り組む児童を増やしていく。論理的思考を養うためのプログラミング学習も継続して取り組んでいく。食育の授業、講話、担任指導を通じて基本的生活習慣の確立にも継続して取り組んでいく。

【 全体の概要 】

平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	66.0	60.0	60.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

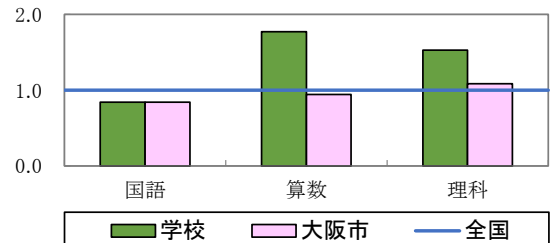
平均正答率(対全国比)



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	4.8	6.2	5.5
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6

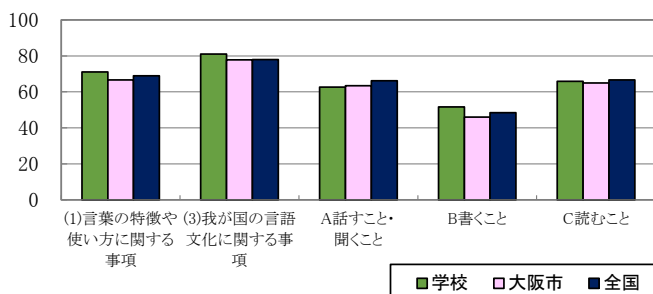
平均無解答率(対全国比)



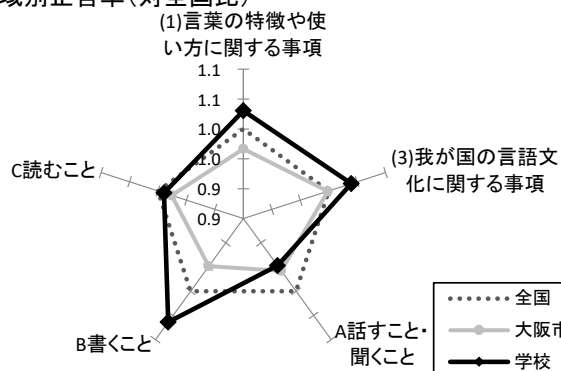
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	5	71.1	66.7	69.0
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語 文化に関する事項	1	81.0	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	62.7	63.4	66.2
B 書くこと	2	51.6	46.0	48.5
C 読むこと	4	65.9	65.0	66.6

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



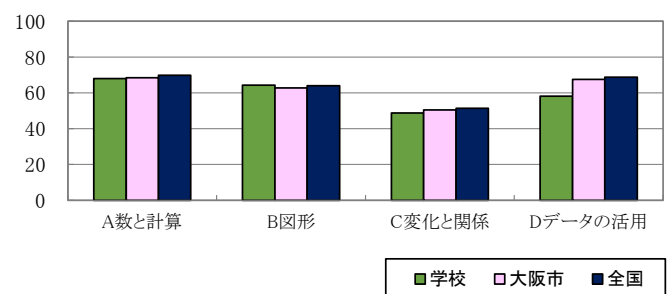
国語 領域別正答率(対全国比)



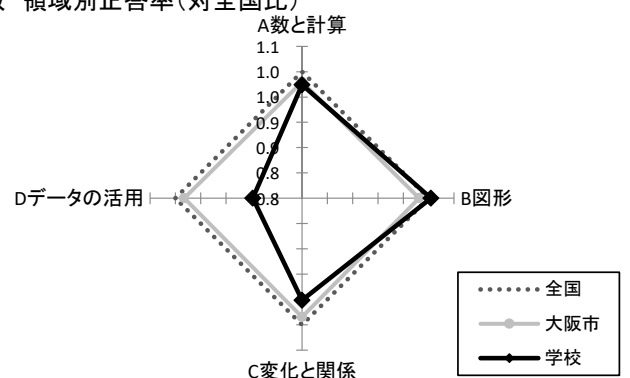
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	68.0	68.4	69.8
B 図形	4	64.3	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	48.8	50.5	51.3
D データの活用	3	58.2	67.5	68.7

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

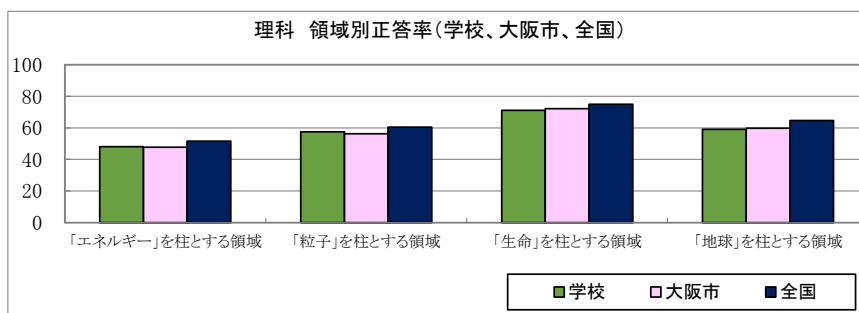


算数 領域別正答率(対全国比)

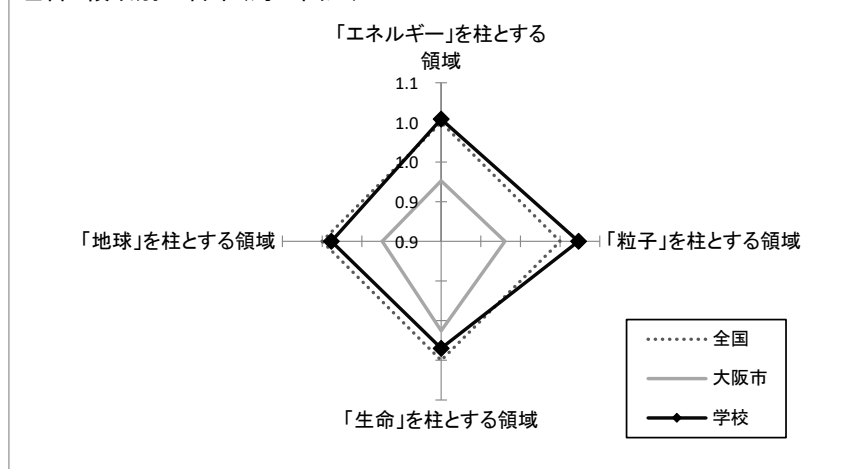


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	48.0	47.8	51.6
	「粒子」を 柱とする領域	57.5	56.2	60.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	71.1	72.2	75.0
	「地球」を 柱とする領域	59.0	59.7	64.6



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

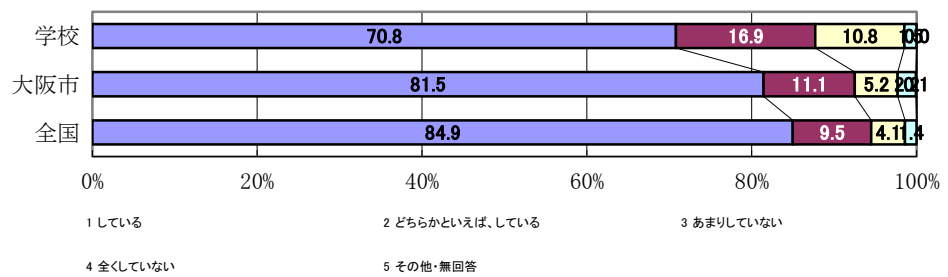
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

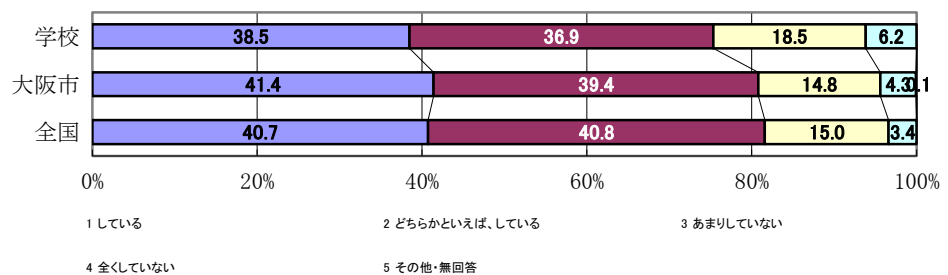
1

朝食を毎日食べていますか



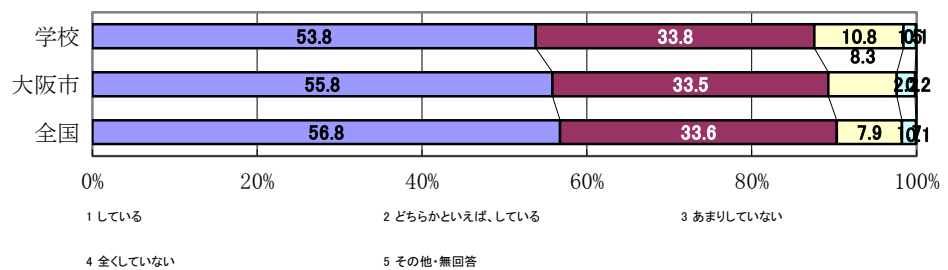
2

毎日、同じくらいの時刻に寝て
いますか



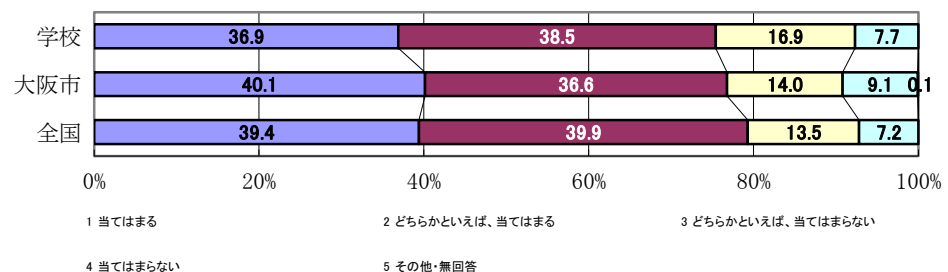
3

毎日、同じくらいの時刻に起き
ていますか



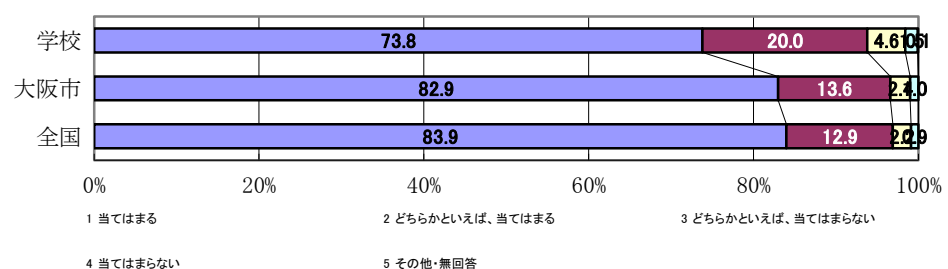
7

自分には、よいところがあると
思いますか



13

いじめは、どんな理由があつて
もいけないことだと思いますか



児童質問紙より

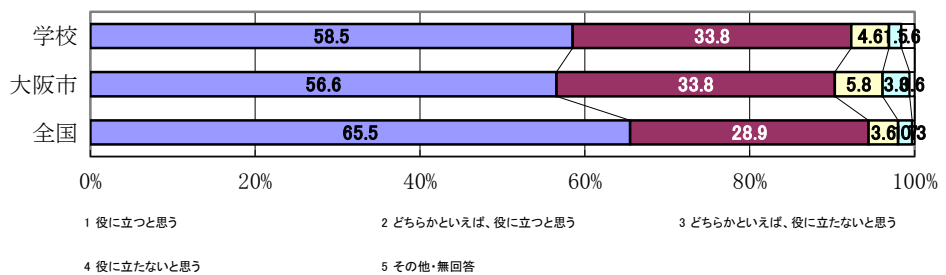
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

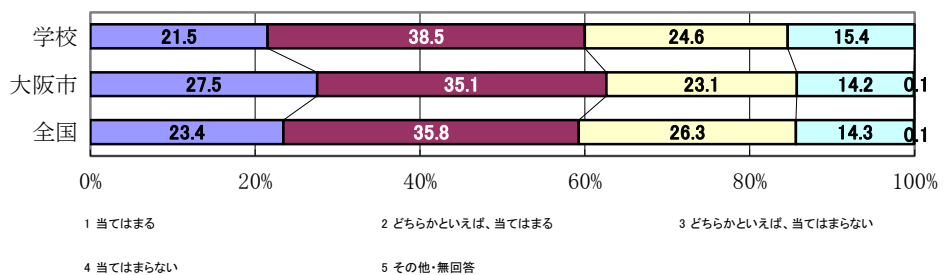
36

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



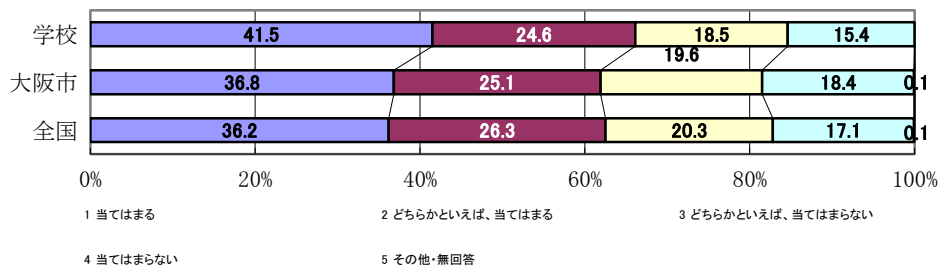
49

国語の勉強は好きですか



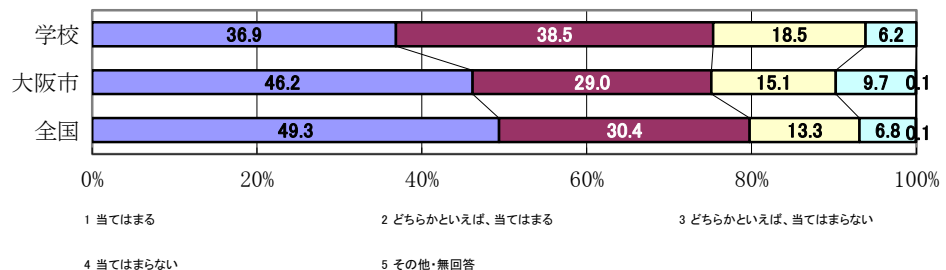
53

算数の勉強は好きですか



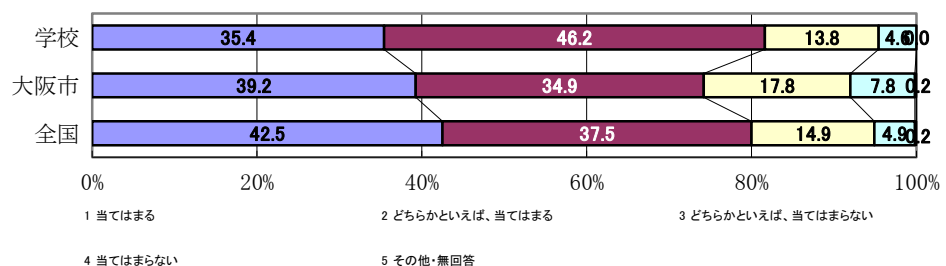
61

理科の勉強は好きですか



48

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



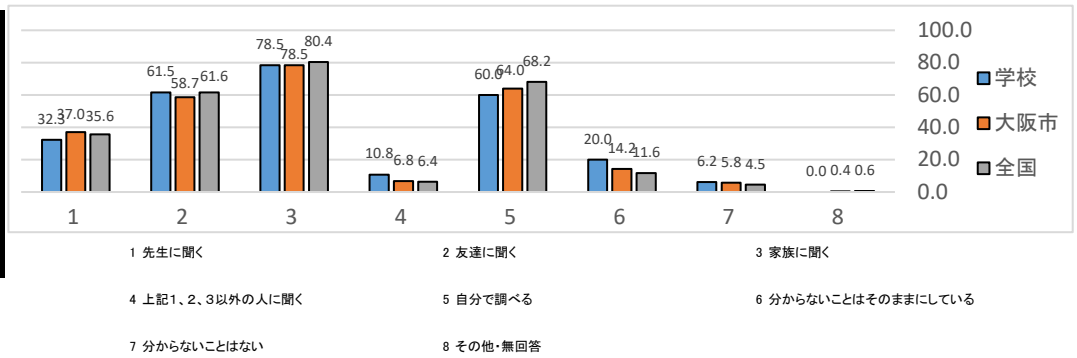
児童質問紙より

質問番号

質問事項

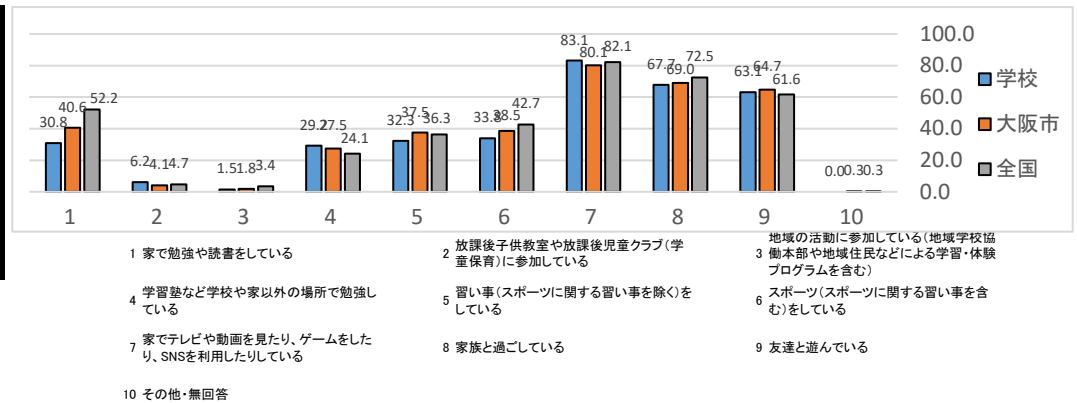
19

家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)



31

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

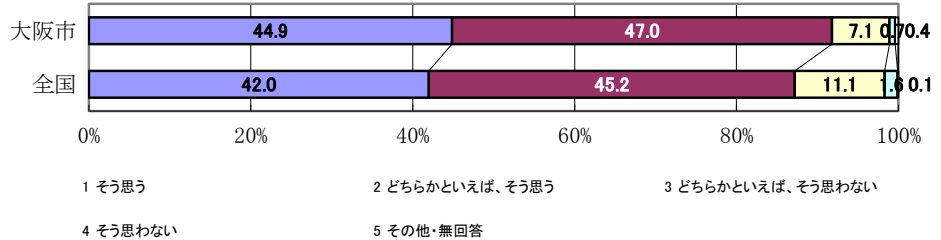
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

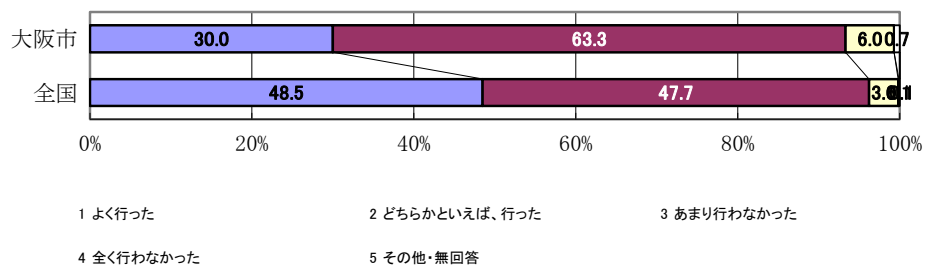
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

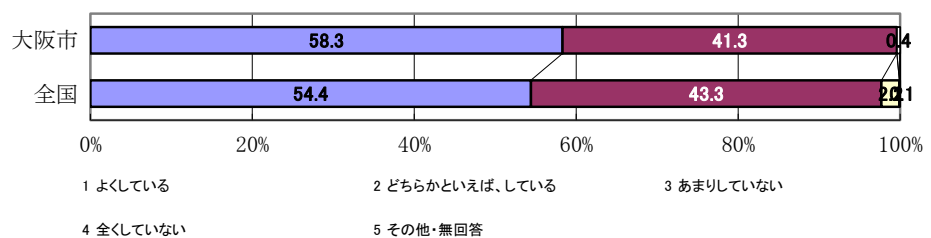
学校 「よく行った」を選択



19

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

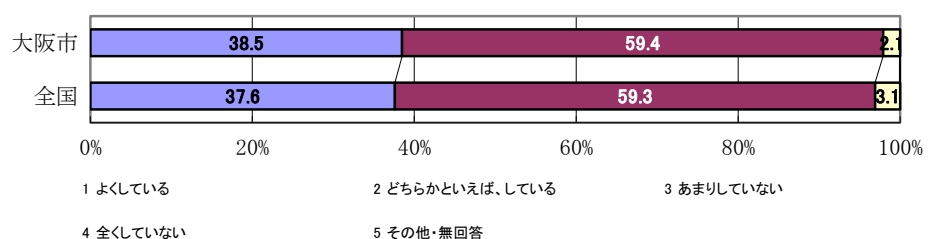
学校 「よくしている」を選択



36

調査対象学年の児童に対して、特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校 「よくしている」を選択



59

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

